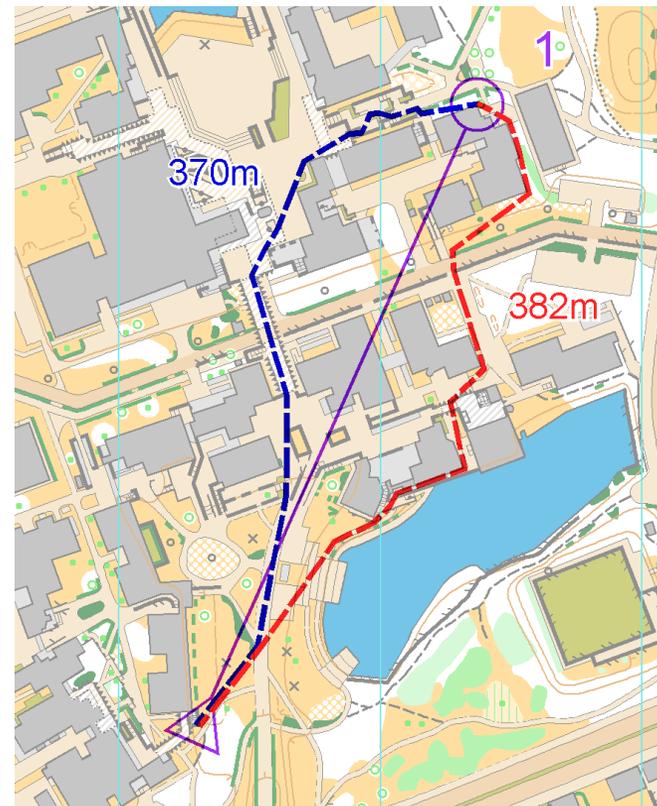
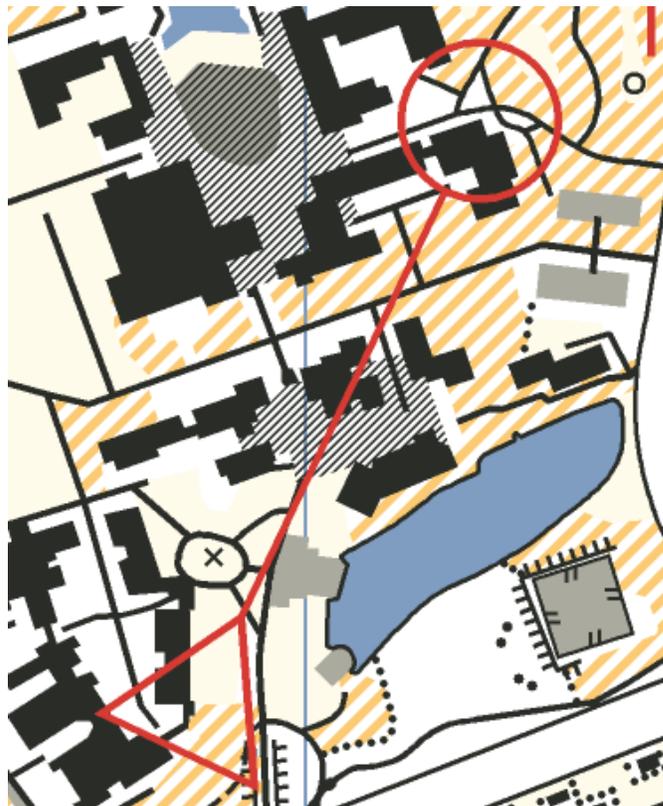
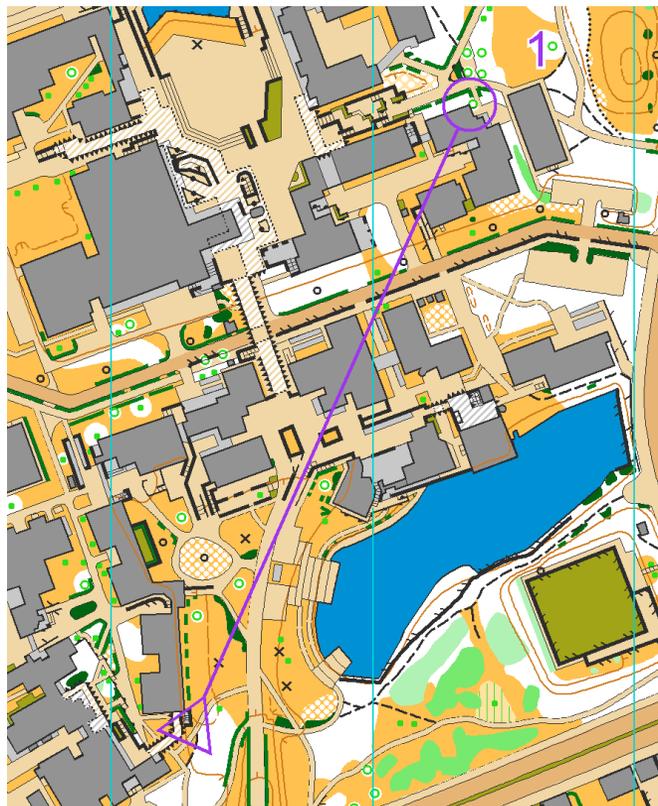
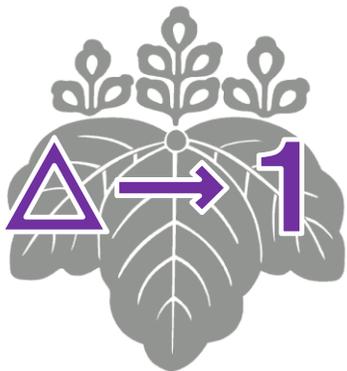
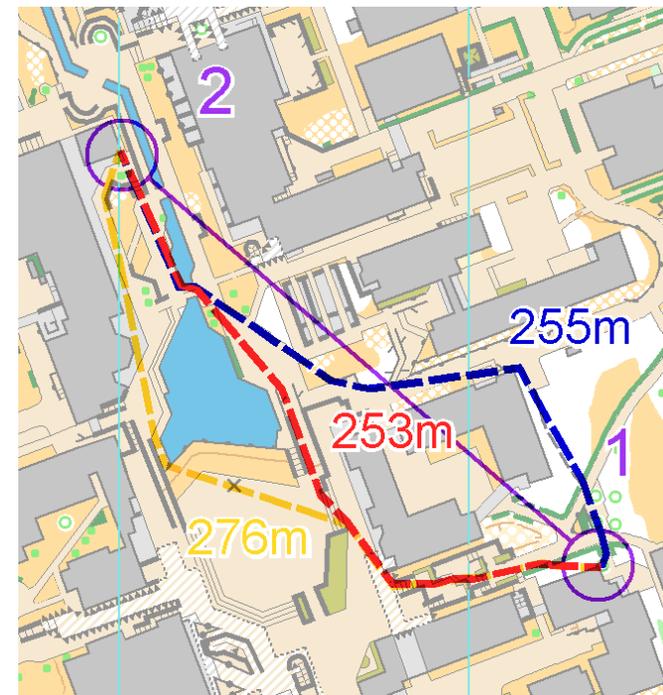
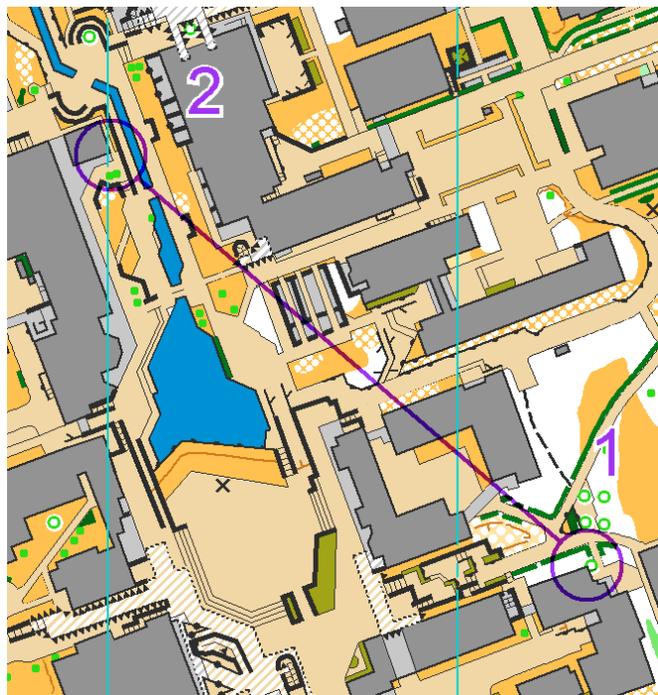


筑波大学オリエンテーリング愛好会・部
50周年記念事業
学内オリエンテーリング
コース解説

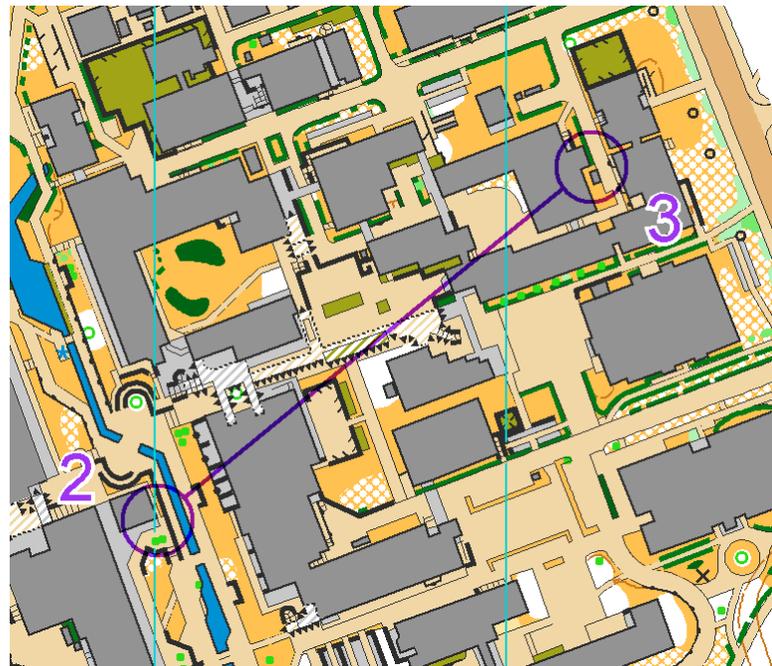
2025/5/11 地図・コース担当 地球19 祖父江有祐



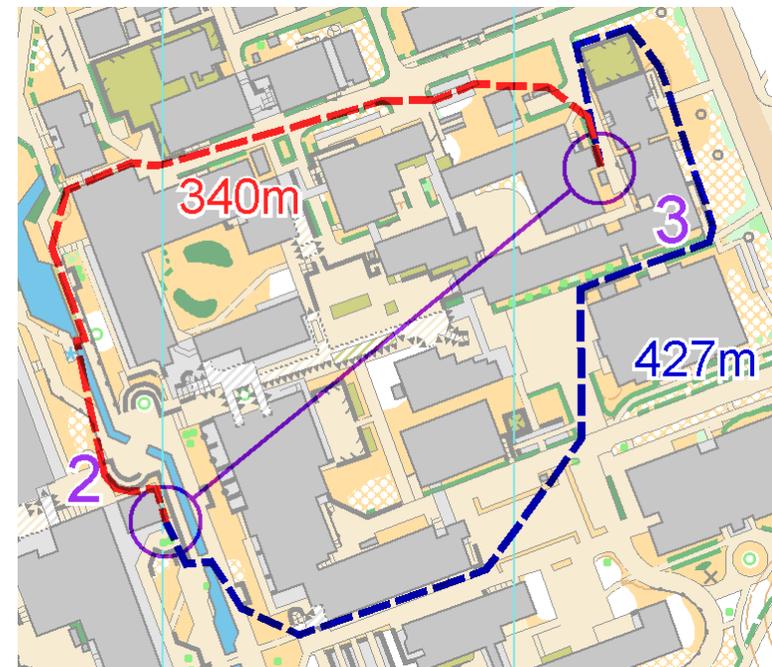
最初は比較的変化の少ないエリアを通すレグ。
赤ルートは1階のみで移動できるので楽だが、初版地図には記載の無い柵に阻まれるため注意が必要。
青ルートはペデストリアンデッキの構造を知らない人には難しいかもしれないが、距離も短くシンプルなルートとなっている。

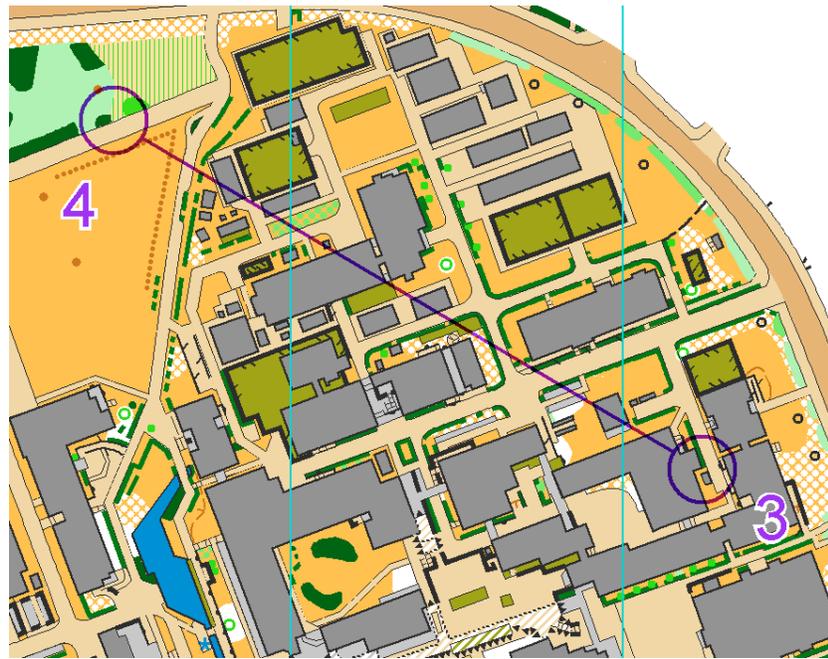


天の川を渡ってペデを北上するシンプルなレッグ。ルートによる差はほとんどないのでお好きにどうぞ。噴水（通称：学費）のある池のおかげでリロケートが容易な赤・黄ルートがおススメ。

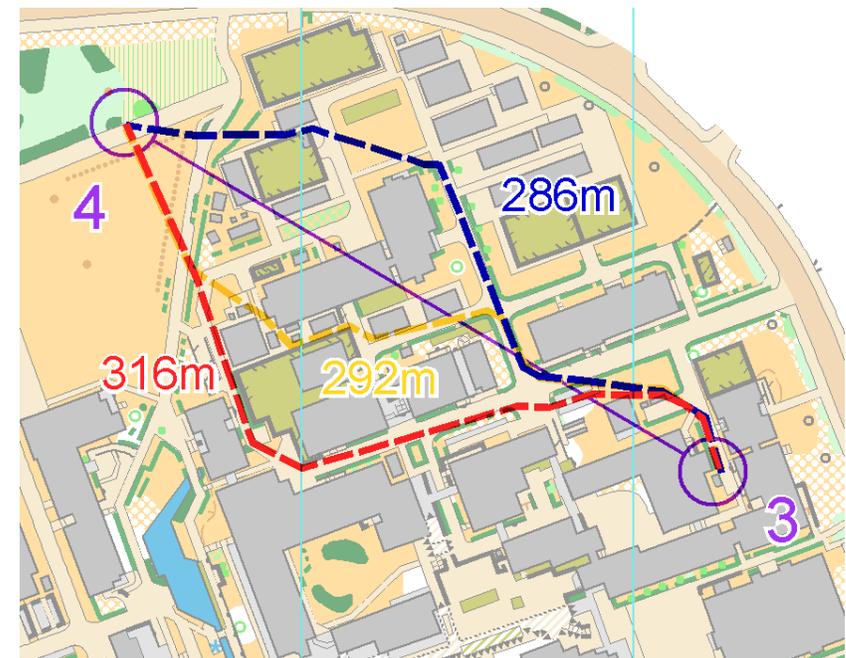


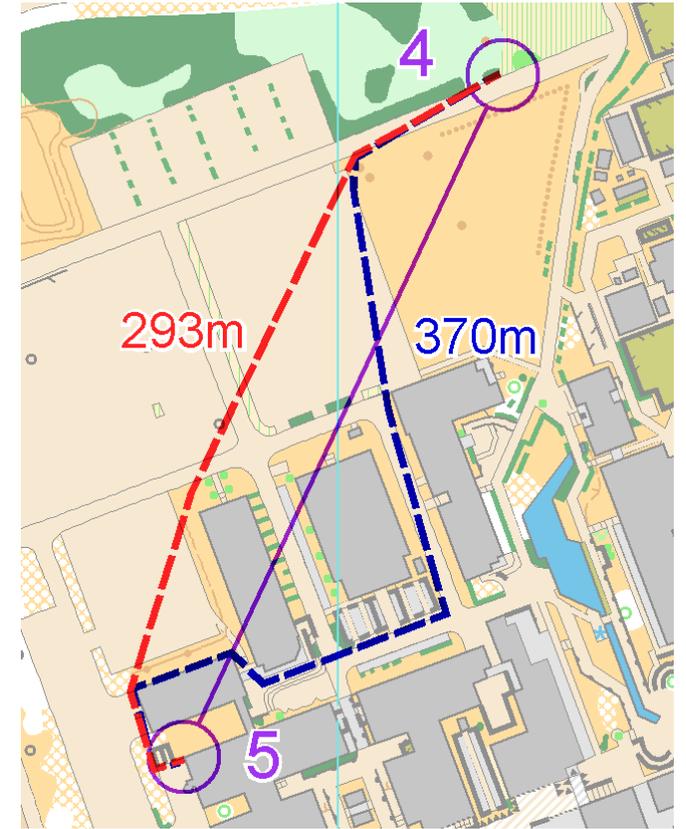
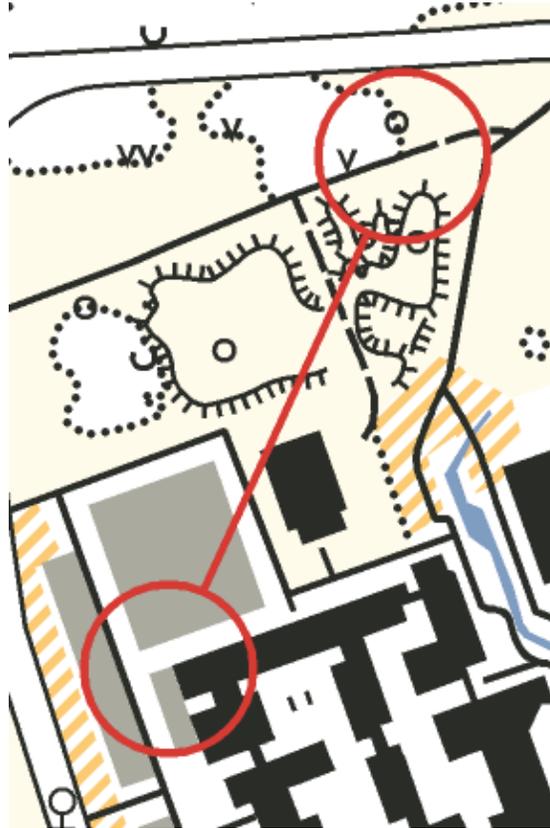
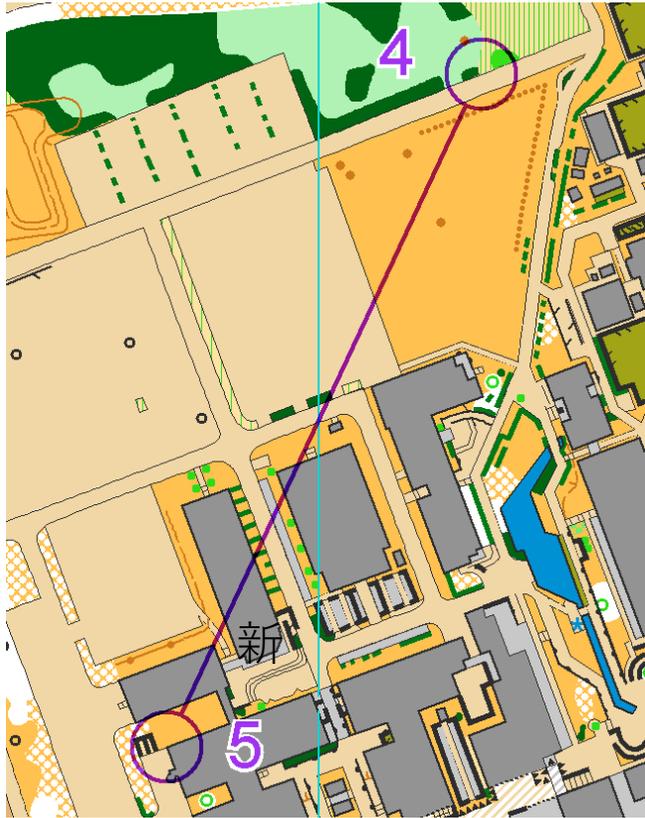
難レグ。右から回る青ルートを選んでしまうと、3ポとその南の体育館の間にある、増築された建物に阻まれてしまう。左から回る赤ルートであれば増築された建物に阻まれる心配はないが、道からそれて右手に入るタイミングを間違えないように注意。



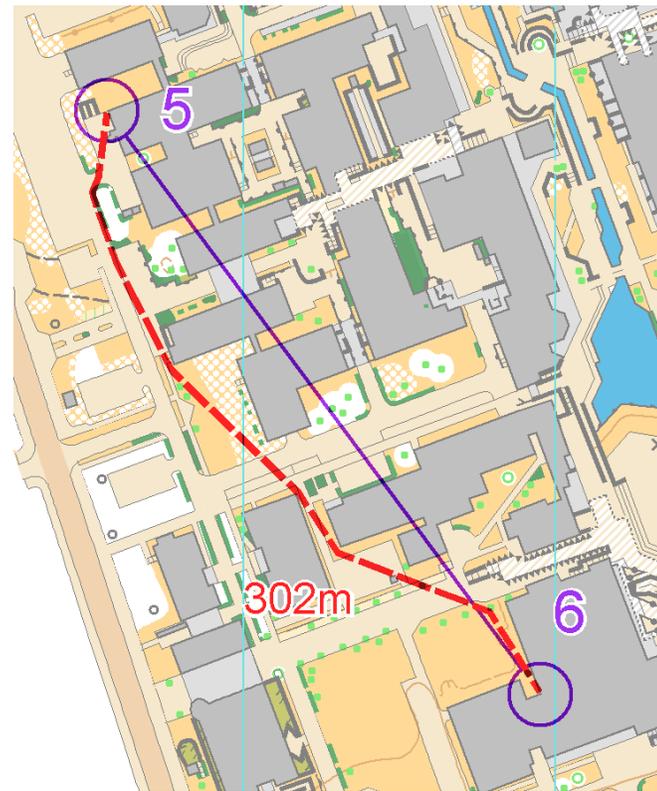
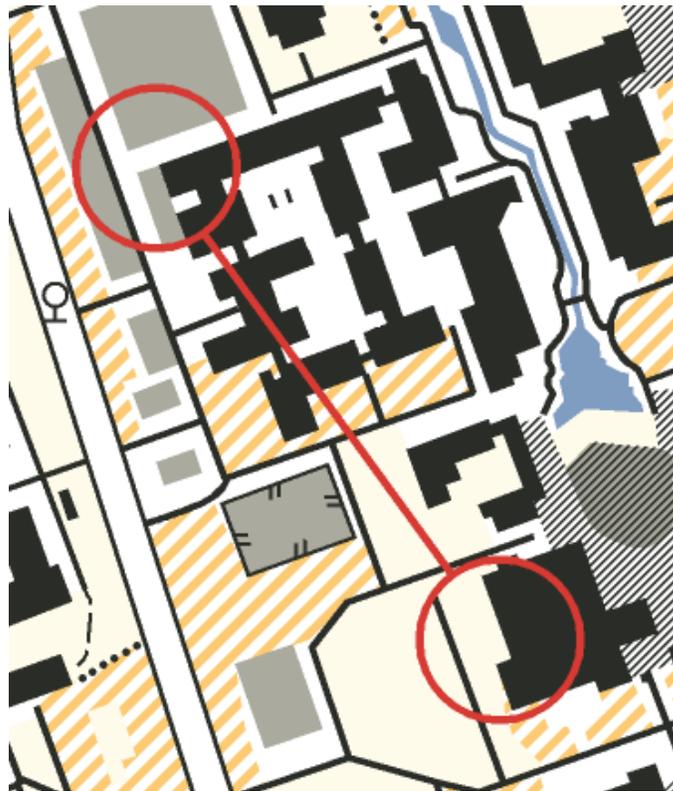
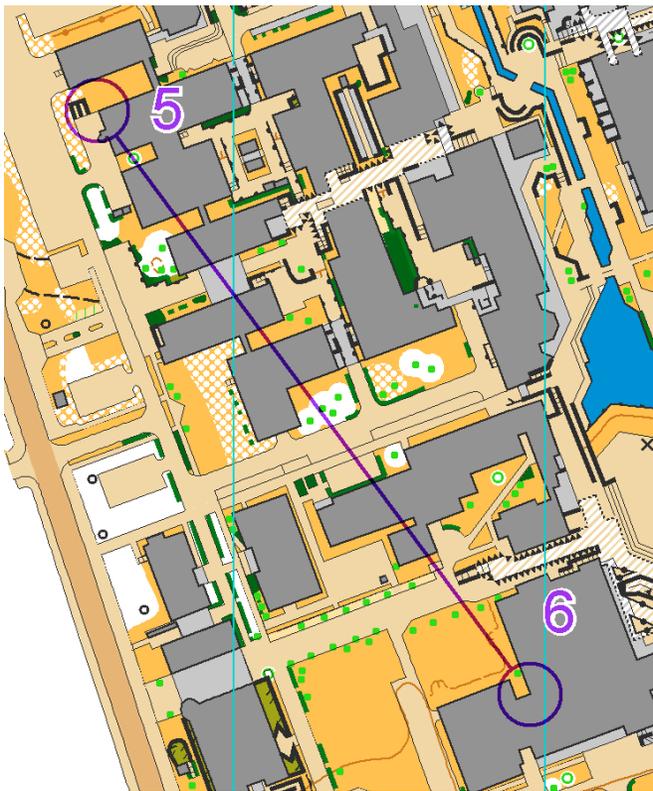


ループ内北端の、建物が無数に建てられているエリアを横断するレッグ。地図に無い建物を抜けてペデを目指そう。もともと4ポはすぐ北のこぶに置こうとしていたが、下見の結果厳しいと言われたので今の位置に落ち着いた。

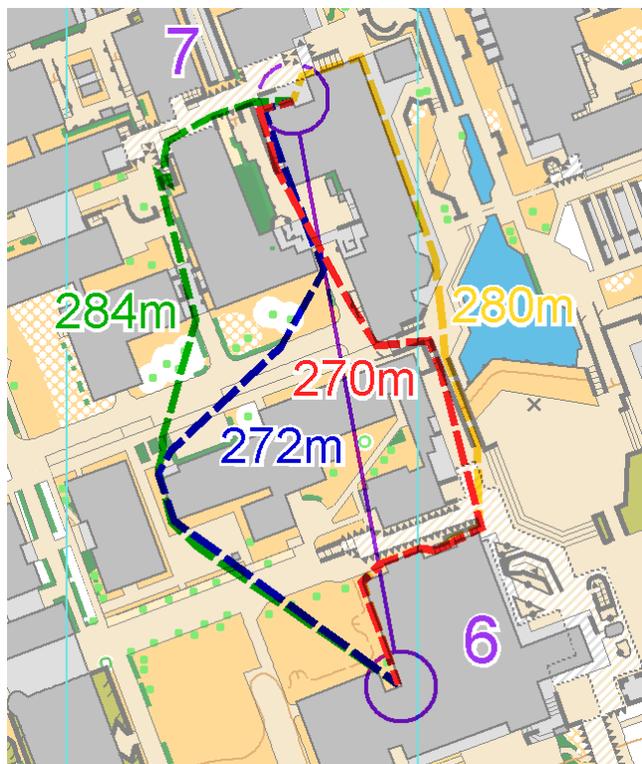




レグ線中央の体育館は当時のまま残っているが、その周りには建物が増えている。体育館を判別できれば、増えた建物を外側から回り込むのが得策と判断できる…が実際のレース中にここまで考えられる人はそういないだろう。青ルートを取ってしまうと最後に増築部分に阻まれてしまう。



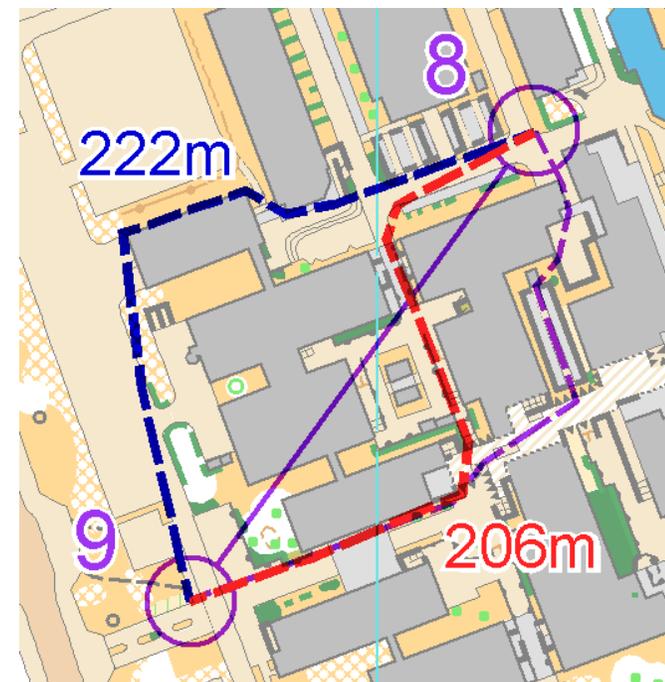
初版地図では開けた場所にあるように見える6ポだが、実際には増築があり少し奥まった位置に置かれている。このことに気づかず図書館周りを1周した、という参加者も少なくないのではないだろうか。
地図交換地点のコントロールなので、裏返して最新版の地図で位置を確認するという、（少しずるい）手もあり。

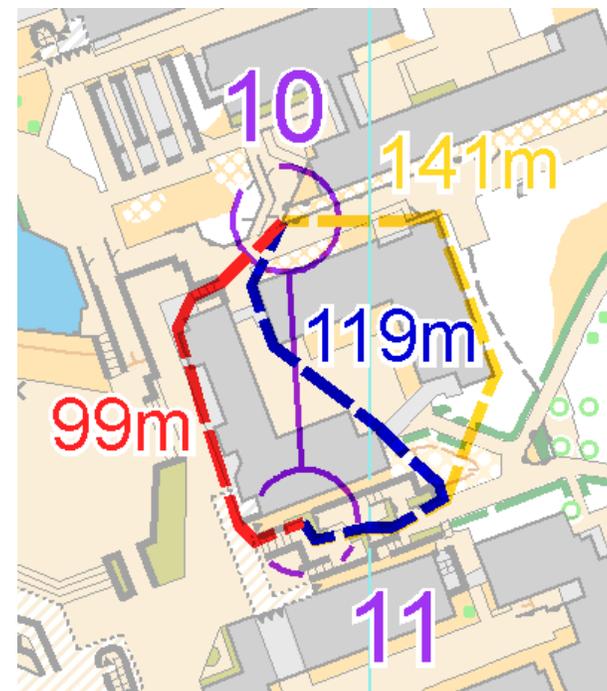
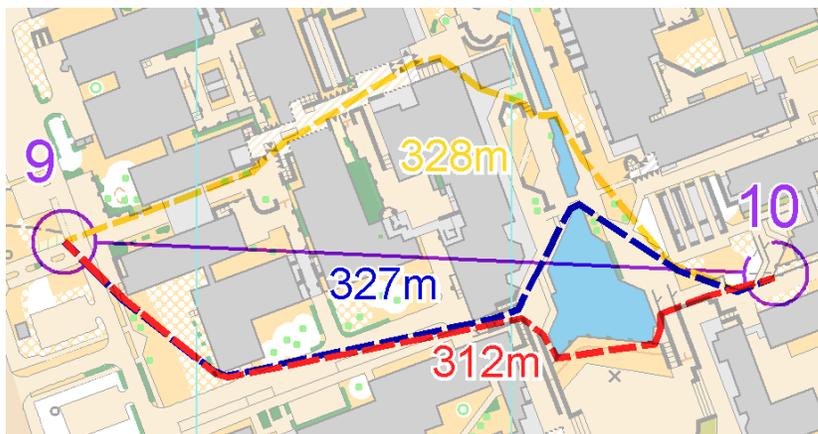


後半最初のレッグ。7ポが2階にあることに気づく必要がある。最短は赤ルートだが、階段を使う上り下りのロスがあるため青ルートの方が速いと思われる。



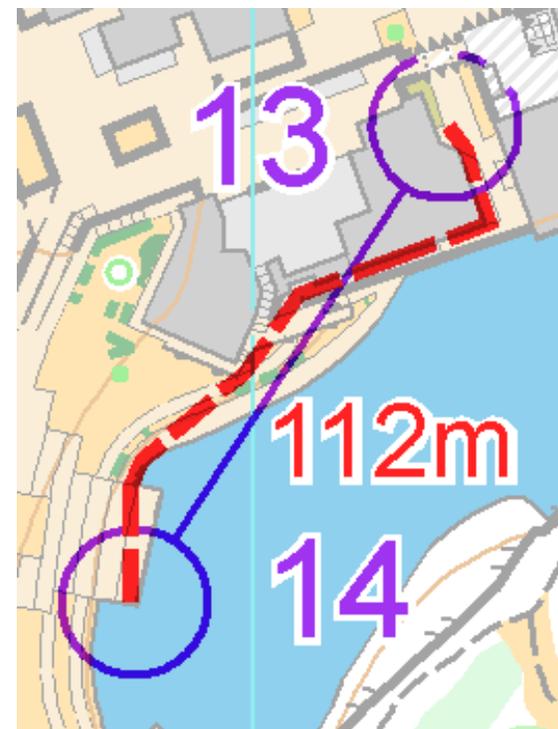
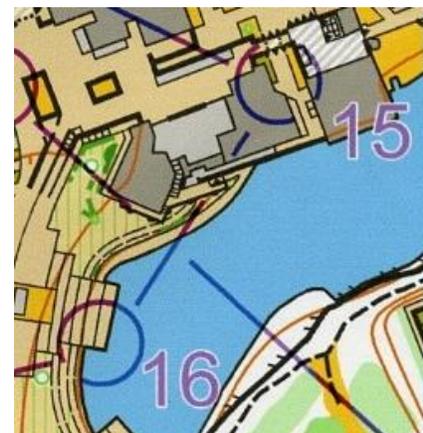
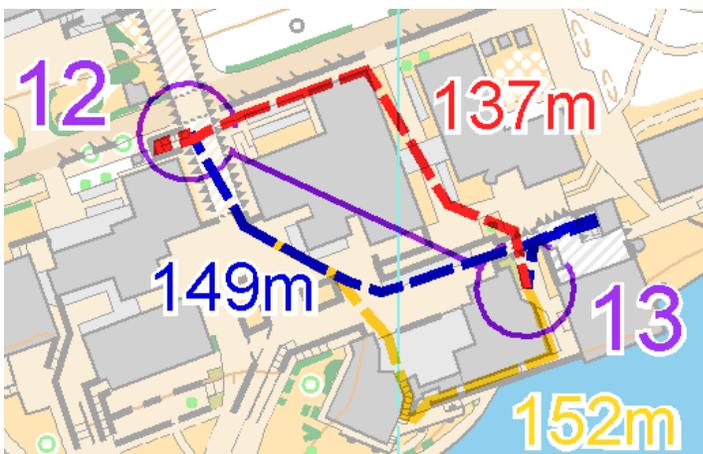
2015年9月23日開催の「第35回筑波大学オリエンテーリング大会」M21A2クラスの10→11を再現したレッグ。当時の地図では南に脱出するルート(紫細破線)が使えたが、現在の地図では不可能な表記となっている。





同じく第35回筑波大大会から引用したレグ。池の南のオープンを通る赤ルートは見つけにくいかもしれない。オープンの先、2本の手すりを迂回しても322mと最短ルートである。いずれのルートを取る場合もオープンなどはショートカットできるとよい。

11ポの周辺は情報量が多く細かいため注意が必要である。出戻って階段を上る赤ルートが最短。若干の登り損は生じるが、アタックも容易なため速いと思われる。



2023年9月23日開催の「第43回筑波大大会」M21A1クラスの14→15を再現したレッグ。早々に階段を下りる赤ルートが最短。筑波大に詳しいと1学食堂横の階段を使う黄ルートや1H棟の階段を使う青ルートも見えてしまいが、残念ながらあまり速くないと思われる。

同じく第43回筑波大大会から引用したレッグ。このポスト位置はコースセッターの樋口佳那(資源21)が参加したWOCのオマージュとなっており、同大会では全てのコースにて使用された。